

2024年度 一般選抜 Ⅱ期

〔英語〕

<解答例>

問1：①

問2：③

問3：帰化とは、アメリカで出生していない非市民が自発的にアメリカ市民となる方法である。

(原文：Naturalization is the way that a noncitizen not born in the United States voluntarily becomes a U.S. citizen.)

問4：to U.S. citizenship through naturalization is being

問5：アメリカ市民権の資格を得るためには、あなたはいくつかの条件を満たさなければならない。

(原文：To be eligible for U.S. citizenship, you must meet certain eligibility requirements.)

問6：④

問7：②

問8：【自由記述であるため、特定の解答はなし。】

*ただし、アメリカの市民権を得るための誓約の内容について聞いているので、明らかにふさわしくないとと思われる内容の場合は減点。

<配点：計100点>

問1：6点 問2：8点 問3：18点 問4：14点 問5：18点

問6：8点 問7：8点 問8：20点

<出題のねらい>

アメリカ政府が外国人向けに出している、アメリカ市民権の取得についての説明文から出題しました。本試験問題の主たるねらいは、出題文の内容を正確に理解しているか、高校までに学習している基本的な英文法をきちんと理解しているか、文意を捉え正確に和訳できるか、といった総合的な英語力をはかることです。とくに配点の高い英文和訳2問は、関係代名詞や構文などの文法をきちんと理解し、正確かつ自然な日本語に訳すことができるかどうかをはかる問題です。また、問8の自由記述では、国籍や市民権について正確に理解したうえで、アメリカ市民権を得るためにどういったことが求められるかを考え、かつ適切に表現できるかどうかをはかるねらいもあります。

[公民]

<解答例>

- 【1】問1：あ 問2：い 問3：い 問4：え 問5：あ
問6：い 問7：う 問8：う 問9：え 問10：拒否権
問11：え
- 【2】問1：あ 問2：う 問3：う 問4：え 問5：い
問6 [1] PL [2] え 問7 [1] え [2] い
問8：う 問9：あ

<配点：計100点>

- 【1】問1～問6、問8 : 各4点×7=28点
問7、問9～問11 : 各6点×4=24点
- 【2】問1～問5、問7 [1] [2]・問8・問9 : 各4点×9=36点
問6 [1]・[2] : 各6点×2=12点

<出題のねらい>

【1】国際政治分野から第二次世界大戦前後の国際機関をテーマとして、国際連盟と国際連合に関する知識や両者の相違点などを取り上げました。日本の関わりについても出題し、国際連盟では創設時から1933年の脱退まで常任理事国を務めたこと、国際連合では非常任理事国を務めた回数が最多となっていることなど、国際貢献に注目しました。終盤では自衛隊の海外派遣についても出題し、国際貢献のあり方について考えてもらいました。集団的自衛権の行使をめぐる議論など、今後どうなっていくかについても目を向けてほしいです。

【2】経済分野から消費者行政を取り上げて、消費者の権利と保護をテーマとしました。高校生のみなさんも消費者であり、さまざまな権利を有しており、法律などで保護されていることを実感してほしいと思いました。あわせて終盤では、私たちの消費行動によって社会や企業を動かすことを示し、例えば私たちが「エシカル消費」を通して環境への配慮を選択基準とすれば、消費者に選ばれるために生産者が一層環境への配慮に努めることに言及しました。知識の獲得にとどまらず、行動に結びつけて活用していくことを期待しています。

[小論文]

<解答例>

(略)

<配点：計100点>

<採点基準>

解答について、以下の採点基準に基づいて評価する。

採点基準①：設問に対する解答となっているか

採点基準②：自分の立場を具体的かつ明確に示しているか

採点基準③：そのように考える理由・根拠を具体的かつ明確に示しているか

採点基準④：文章が論理的であるか

※ 誤字・脱字等については、減点の対象とする。

<出題のねらい>

中学校における生徒主体の校則改正に関する新聞記事を読んだうえで、自身の意見を論じる、という出題です。高校生としては身近な話題だと思いますが、自身の意見とその理由づけを要領よく整理し、論述を行う必要があります。書きやすいテーマとは思いますが、論述内容が平板なものにならないようにするために、日ごろから、さまざまな社会問題に関心をもっておくことも有益なことです。

〔国語〕

＜解答例＞

- 問一 (a) ようご (b) べんぎ (c) まぬか(れる) / まぬが(れる)
(d) いきよ (e) ゆだ(ねる) (f) かいぎ
- 問二 (1) エ(対峙) (2) ア(過程) (3) イ(代替)
(4) エ(構成) (5) ア(対抗) (6) ウ(貢献)
- 問三 2 問四 ウ 問五 イ 問六 ア
問七 ウ 問八 エ 問九 それらの全

＜配点：計100点＞

- 問一 各 $4 \times 6 = 24$ 問二 各 $4 \times 6 = 24$
問三～問六 各 $6 \times 4 = 24$ 問七 8
問八・問九 各 $10 \times 2 = 20$

＜出題のねらい＞

「政治組織としてみた国家」についての論考を取り上げました。まず、漢字の読み書きについてです(問一・二)。あえて間違えやすいものを選択肢の中に混ぜて出題していますが、いずれも頻繁に用いられる漢字ばかりです。日頃の学習の際にも、漢字の正確な読み書きを意識するようにしてください。

内容については、もちろん一文ごとの意味を精確に把握しようとすることは大切なのですが、あわせて、①文と文のつながり方・関係の仕方、②文章を全体として見たとき、その内部構成がどうなっているのか、③文章全体としての趣旨はどのようなものになるのか、といった点などを意識するようにしてください(問三～六)。